

特集

SUPで世界と繋がる

本市は、SUP（サップ）を活用し地域振興に繋げていく「阿南SUPタウンプロジェクト」を、移住支援団体「サステナブル阿南」（代表 篠原好貴さん）と連携し、4月からスタートしました。

東京オリンピックや大阪万博の開催などで、国内個人消費やインバウンド需要による経済効果が期待されています。そこで、阿南が持つ豊かな自然環境を生かして、SUPによる関係人口を創出し、地域経済の拡大を図ります。

また、都市部との継続的な交流を通じて、移住・定住人口の増加をめざします。

SUPは、スタンド・アップ・パドルボードの略で、ボードの上に立ち、パドルを使って漕いで、水上を進むマリンスポーツ（活動）です。サーフィンなどに比べてボードが大きく浮力が高いため、初心者でもすぐに楽しむことができます。その手軽さゆえ、ズボーツ、レジャーや健康増進など世界で人気上昇しています。

阿南市公式チャンネル

「広報あなん動画版」

市政について広報番組を制作し、ケーブルテレビ11ch（ケーブルテレビあなん、県南テレビ）やYouTubeで放映しています。

8月から、

「SUPで世界と繋がる」

を放映します。



SUPフェス2019や体験のようすなど、SUPの魅力迫力ある映像をご紹介します。

問い合わせは 秘書広報課(☎22-1110)へ



阿南をSUPの まちに

沼田かおるさん

4月から地域おこし協力隊員として着任した沼田かおるさんは、日本初の女性プロサーファー。SUPの魅力などについて、お話をうかがいました。

「SUPの魅力を教えてください。」
SUPでは、独特の浮遊感を体感できます。また、今まで見たことの無い景色を見ることが出来ます。日常生活から解放されることで、心身ともにリフレッシュすることが出来ます。
「SUPをこれからやってみたい」と思われている方へ、アドバイスをお願いします。
サーフィンなどに比べ挑戦しやすく、身構えることなく体験し、楽しさを存分に味わ

「阿南にSUPを根付かせるために、今後どのような活動を行いますか。」
講習会を開いたり、プロモーション活動を行ったりして、本プロジェクトを積極的に推進していきます。
阿南がSUPのまちになり、たくさんの方が訪れてくれるよう、県内外に魅力を発信していきたいです。



外からSUP愛好家など約250人が集い、進水式やSUP遊泳を行うなど、プロジェクトの船出

「阿南が持つ豊かな自然という地域資源を生かし、持続可能なまちづくりに向けて、パドルを漕ぎ出しました。」

阿南市内には、海洋条件やロケーションなどSUPクルーズに適した海岸が多く点在しています。また、京阪神から車で3時間以内、高速バスの直行便も運行されているというアクセスの良さから、都市部から日帰りでプチリゾート気分が味わえます。本市の地域資源である豊かな自然と地理的条件を生かし、SUPによる体験型の観光コンテンツを用意することで、人が集まり、地域経済の拡大につながります。

「SUPの魅力を教えてください。」
SUPでは、独特の浮遊感を体感できます。また、今まで見たことの無い景色を見ることが出来ます。日常生活から解放されることで、心身ともにリフレッシュすることが出来ます。
「SUPをこれからやってみたい」と思われている方へ、アドバイスをお願いします。
サーフィンなどに比べ挑戦しやすく、身構えることなく体験し、楽しさを存分に味わ

「阿南にSUPを根付かせるために、今後どのような活動を行いますか。」
講習会を開いたり、プロモーション活動を行ったりして、本プロジェクトを積極的に推進していきます。
阿南がSUPのまちになり、たくさんの方が訪れてくれるよう、県内外に魅力を発信していきたいです。



椿SUPパーク

SUPエリアは椿泊漁協・阿南漁協・地域住民の皆さまのご理解の上、SUP航行を許可されたエリアです。ルールやマナーを守ってSUPを行ってください。



SUPボードを収納する艇庫

※椿SUPパークの利用、講習会の実施は、下記までお問い合わせください。

問い合わせは サステナブル阿南 篠原(☎090-6284-1955)へ



座って遊泳。体のバランスをとります。



最初は、腰が引けています。



ボードに立つことができました。気分は最高。



パドルの漕ぎ方を教わりました。



SUPにチャレンジ!!
タレントの長谷川加奈さんと徳島県住みます芸人のみっとしーさんが、SUPに挑戦しました。